

議案第 5 1 号

天理市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例
の制定について

天理市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例を次のように制定しようとする。

平成20年 9 月 8 日提出

天理市長 南 佳 策

天理市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例
(目的)

第 1 条 この条例は、公職選挙法（昭和25年法律第100号。以下「法」という。）第142条第11項の規定に基づき、天理市長の選挙における同条第 1 項第 6 号のビラ（以下「選挙運動用ビラ」という。）の作成の公営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(選挙運動用ビラの作成の公営)

第 2 条 天理市長の選挙においては、候補者は、第 5 条に定める額の範囲内で、選挙運動用ビラを無料で作成することができる。ただし、当該候補者に係る供託物が法第93条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）の規定により天理市に帰属することとならない場合に限る。

(選挙運動用ビラの作成の契約締結の届出)

第 3 条 前条の規定の適用を受けようとする者は、ビラの作成を業とする者との間において選挙運動用ビラの作成に関し有償契約を締結し、天理市選挙管理委員会（以下「委員会」という。）が定めるところにより、その旨を委員会に届け出なければならない。

(公費の支払)

第 4 条 天理市は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの 1 枚当たりの作成単価（当該作成単価が 7 円30銭を超える場合は 7 円30銭）に当該選挙運動用ビラの作成枚数（当該候補者を通じて、法第142条第 1 項第 6 号に定める

枚数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額(1円未満の端数がある場合には、その端数は1円とする。)を第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ビラの作成を業とする者に対し支払う。

(公費負担の限度額)

第5条 第2条の規定により選挙運動用ビラを作成する場合の公費負担の限度額は、候補者1人について、7円30銭に選挙運動用ビラの作成枚数(当該作成枚数が法第142条第1項第6号に定める枚数を超える場合には、同号に定める枚数)を乗じて得た額とする。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、第4条の支払の請求の手續その他第2条の規定の適用に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(適用区分)

2 この条例の規定は、この条例の施行の日以後その期日を告示される選挙から適用する。